

医療費分析結果報告書（概要）

- 令和元年度 -

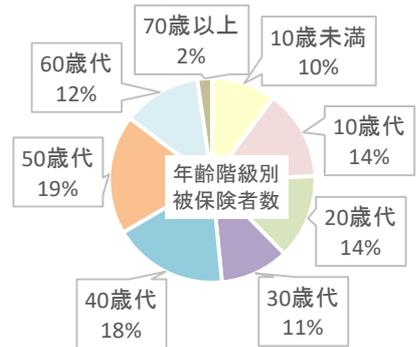
【1 被保険者の状況】

○被保険者数（年度平均）は406,101人であり、前年度に比べて0.38%減少したが、組合員数は前年度に引き続き増加し、増加率は1.02%であった。家族数は△2.10%と依然として減少が続いている。（1頁表-1）

組合健保の実質的伸び率は、前年度から被保険者数が+1.26%、被扶養者数が△1.64%である。

○被保険者の年齢階級別割合では、50歳代が18.81%と最も高い。（2頁表-2）

組合健保と比較すると、前年度と同様に45歳以降はすべての年代で全国土木が高くなっている。



○平均年齢は、37.4歳（組合員45.8歳、家族29.6歳）である。（2頁表-3）

組合健保の平均年齢は35.2歳であり、全国土木が2.2歳高い。

○前期高齢者は28,381人であり、前年度に比べて4.39%増加し、加入率は6.99%となっている。（4頁表-4）

組合健保の加入率は3.35%であり、全国土木が3.64ポイント高い。

○扶養率は1.09人で、前年度に比べて3.04%減少している。（5頁表-5、6）

組合健保の扶養率は0.76人であるが、組合健保より扶養率が高い理由は、①組合員の男性割合が85.9%と高いこと、②組合員と同一世帯であれば収入の多寡にかかわらず家族被保険者となることと推察される。

【2 医療費の状況】

○総医療費は約747億円であり、前年度に比べて1.76%増加している。診療区分別では、医科入院外が41.10%と最多であり、組合員・家族別にみると、家族（50.84%）が組合員（49.16%）より1.68ポイント高い。（7頁表-7、8頁図-10）

○1人当たり医療費は増加傾向であり、前年度に比べて2.15%増加している。診療区分別に前年度と比較すると次表のとおりである。（9頁表-9、16頁表-15） ※合計には訪問看護療養費を含む

区分	1人当たり医療費合計	医科入院	医科入院外	歯科	調剤	(医科入院外+調剤)
令和元年度	183,948円	50,264円	74,822円	20,882円	37,369円	112,192円
平成30年度	180,084円	50,146円	73,458円	20,360円	35,614円	109,072円
増減額	3,864円	118円	1,364円	522円	1,755円	3,120円
増減率	2.15%	0.24%	1.86%	2.57%	4.93%	2.86%

○平成30年度の1人当たり医療費では、組合健保との差が22,521円（14.29%）あるが、本人割合、男女割合、年齢構成の影響を取り除くと、その差は1,546円（0.98%）となる。

（10頁表-10） ※比較対象とする組合健保資料の公表時期の関係から平成30年度で比較した。診療区分別にみると医科入院の差が最も大きく、1,546円の差のうち6割弱を占めている。

1人当たり医療費			本人割合、男女割合、年齢構成を揃えた1人当たり医療費		
全国土木	組合健保	差(率)	全国土木	組合健保	差(率)
180,084円	157,563円	22,521円(14.29%)	159,109円	157,563円	1,546円(0.98%)

○ジェネリック医薬品（調剤診療分）の使用割合は、令和2年3月診療分で81.5%となっている。（34頁図-53）

医科歯科診療分を含めた使用割合は、令和2年3月診療分で78.3%となっている。

【3 疾病の状況】

○疾病分類別に医療費（歯科の疾患を除く）を金額順にみると、入院では組合員は「循環器系の疾患」（25.5億円）、家族は「新生物」（21.0億円）が最も高く、入院外では組合員は「循環器系の疾患」（22.3億円）、家族は「呼吸器系の疾患」（27.3億円）が最も高い。（35頁表-32～39頁表-36）

各区分で金額が最も高い年齢階級と疾病分類は次表のとおりである。

区 分	入 院			入 院 外		
	年齢階級	疾病分類	金 額	年齢階級	疾病分類	金 額
組 合 員	60歳～64歳	新生物	5.8億円	60歳～64歳	循環器系の疾患	5.2億円
家 族	0歳～4歳	周産期に発生した病態	6.2億円	0歳～4歳	呼吸器系の疾患	8.3億円

○平成30年度の疾病分類別1人当たり医療費は、①新生物（20,761円）、②循環器系の疾患（17,741円）、③呼吸器系の疾患（12,633円）の順に高い。（40頁表-37）

組合健保と比較し全国土木との差が最も大きい疾患について、年齢構成の影響を除いて比較すると次表のとおりである。

区 分	疾病分類	1人当たり医療費			年齢構成を揃えた1人当たり医療費		
		全国土木	組合健保	差（率）	全国土木	組合健保	差（率）
入 院	循環器系の疾患	9,703円	6,175円	3,528円(57.13%)	7,146円	6,175円	971円(15.73%)
入院外	循環器系の疾患	8,038円	4,664円	3,374円(72.34%)	5,806円	4,664円	1,142円(24.48%)

○平成30年度の前期高齢者の疾病分類別1人当たり医療費は、医科入院は「新生物」（55,153円）、医科入院外は「循環器系の疾患」（37,428円）が最も高い。（43頁表-40）

組合健保と比較し全国土木との差が大きい上位3疾患は次表のとおりである。

疾病分類	入 院			疾病分類	入 院 外		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
総 数	166,697円	129,302円	37,395円	総 数	183,194円	148,933円	34,261円
新生物	55,153円	39,039円	16,114円	循環器系の疾患	37,428円	28,142円	9,286円
循環器系の疾患	44,820円	33,550円	11,270円	内分泌、栄養及び代謝疾患	25,681円	19,913円	5,768円
筋骨格系及び結合組織の疾患	15,216円	12,099円	3,117円	新生物	32,421円	26,721円	5,700円

○平成30年度の前期高齢者の入院医療費の疾病分類別新3要素分析をみると、100人当たり新規入院件数は「新生物」（5.84件）が最も多く、1入院当たり医療費は「精神及び行動の障害」（2,671千円）が最も高い。（44頁図-63）

各要素において、組合健保と比較し全国土木との差が大きい上位3疾患は次表のとおりである。

疾病分類	100人当たり新規入院件数			疾病分類	平均在院日数		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
新生物	5.84件	3.89件	1.95件	神経系の疾患	22日	36日	△14日
循環器系の疾患	3.31件	2.46件	0.85件	精神及び行動の障害	164日	177日	△13日
消化器系の疾患	2.40件	2.01件	0.39件	腎尿路生殖器系の疾患	11日	14日	△3日
疾病分類	1入院当たり医療費			疾病分類	1日当たり医療費		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
神経系の疾患	726千円	1,081千円	△355千円	循環器系の疾患	89,311円	79,564円	9,747円
精神及び行動の障害	2,671千円	2,800千円	△129千円	腎尿路生殖器系の疾患	52,358円	47,091円	5,267円
筋骨格系及び結合組織の疾患	1,304千円	1,432千円	△128千円	新生物	71,760円	66,535円	5,225円